

平成26年度分

小学生（低学年）向き

なぞのかみきれをおえ！（ぼくは めいたんてい）

マージョリー・ワインマン・シャーマット／文 マーク・シーモント／絵 小宮 由／訳 大日本図書 2013年

小さな名探偵のネートは、ある日「うたい」と書かれたなぞの紙切れを見つけます。やぶられた紙切れには、もともと何が書かれていたのでしょうか。パンケーキが大好きなネートと相棒の犬のスラッジの活躍が楽しいおはなしです。この本を読めばあなたも名探偵になれるかも。

そんなとき どうする？

セシル・ジョスリン／文 モーリス・センダック／絵 こみや ゆう／訳 岩波書店 2013年

男の子がちょっとおかしい場面に次々に出会います。“そんなときどうする？”そしてページをめくると思わずクスッと笑ってしまう楽しい答えが…。この本は読んでいるあなたが主人公です。ページをめくる前に自分ならどうする？と考えてみるのも楽しいかもしれません。

こりすのかくれんぼ

西村 豊／著 あかね書房 2013年

森の木の穴に、りすのお母さんと4つ子の子りすが暮らしています。ある日、留守番をたのまれたこりすたちは、お母さんの後を追いかけているうちにかくれんぼをはじめてしまいます。元気でかわいいらすたちの写真絵本です。

小学生（中学年）向き

かあちゃん取扱説明書

いとう みく／作 佐藤 真紀子／絵 童心社 2013年

家族の中で一番いぼっているかあちゃんを思い通りに「操作」するため、哲哉は「かあちゃん取扱説明書」を作ることになりました。すると、かあちゃんの本物の姿が見えてきます。反発しながらも、かあちゃんのことを大好きな哲哉。「お母さん」の存在の大きさを感ずるおはなしです。

たべものくらべっこ えほん

柳沢 幸江／監修 高岡 昌江／文 すがわら けいこ／絵 学研教育出版 2014年

キャベツとレタスなど、身近にある似ているたべものをいろいろな視点から比べている本です。くらべっこしてどこが違うのか考えたり、レシピがのっているので実際に作ってみることもできます。子どもだけでなく大人もいっしょに楽しめる絵本です。

りんごの木の上のおばあさん

ミラ・ローベ／作 塩谷 太郎／訳 岩波書店 2013年

おばあちゃんがほしくてたまらないアンディに、ある日とっても楽しいおばあちゃんができました。豊かな空想に満ちた子どもの目線で描かれた物語です。おばあちゃんはもちろんのこと、アンディもまわりの人々もみんなそれぞれにすてきで、人のつながりっていいなと思えます。

小学生（高学年）向き

行ってきまあす！

升井 純子／著 講談社 2013年

4年生になった歩美はワクワクしています。子どもたちだけで、バスや地下鉄を使って目的地に行き、スタンプを集める「スタンプラリーノルミル」に参加できるからです。歩美は友達と計画を立て、いざ出発！ ところが行く先々でいろんなことが起こります。子どもたちの小さな旅を応援したくなる本です。

ぼくたち いそはま たんていだん

三輪 一雄／作・絵 松岡 芳英／写真 偕成社 2013年

じっちゃんが考えた、海の漂着物なぞときゲームに挑戦する、かいとまりのお話です。浜辺に打ち上げられた漂着物を探す「ビーチコーミング」をしながら、海や貝について楽しく学んでみましょう。

マッティのうそとほんとの物語

ザラー・ナオウラ／作 森川 弘子／訳 岩波書店 2013年

マッティは大人のうそが許せない小学5年生の男の子。ところがある出来事をきっかけに、マッティ自身もうそをついてしまいます。そのうそは、彼の予想をこえて、家族みんなを巻き込む大騒ぎに…。 マッティたちはいったいどうなってしまうのか。そしてどんなうそをついてしまったのか。どきどきわくわくしながらお楽しみください。

中学生向き

日本語を味わう名詩入門20 まど・みちお

萩原 昌好／編 あすなろ書房 2013年

まど・みちおさんは、平成26年3月に104歳で亡くなるまで、童謡『ぞうさん』など多くの詩をのこしました。詩の中ではミミズやぞうきんなどにも温かいまなざしが向けられています。視点を変えてものごとを見た時、今までとはまったく違う光景が見えたり、新しい感動に出会えたりするのではないのでしょうか。

負けないパティシエガール

ジョーン・パウアー／著 灰島 かり／訳 小学館 2013年

ママの暴力的なボーイフレンドから逃れて、新しい町で生活を始めたフォスターは、夢に向かって積極的に行動します。彼女は大きな悩みをかかえていましたが、次第に協力者が現れ、悩みに立ち向かう決心をします。主人公から力をもらえる一冊です。

食べて始まる 食卓のホネ探検

盛口 満／文・絵 少年写真新聞社 2014年

アジのひらき、サンマの塩焼き、フライドチキン、豚足。食べると骨が残りますね。ポイツと捨てる前に、ちょっと観察してみませんか。骨には生き物の「くらし」と「歴史」が現れています。一本の骨を見て、どんな生き物のどこの骨か、見当がつくようになったらあなたも骨博士です。